

13 楠川区有文書(クスガワクユウモンジョ)

指定 昭和 48 年 8 月 20 日 町指定 有形一古文書
所在地 鹿児島県屋久島町楠川
管理者 楠川区

楠川集落に伝えられている古文書群。近世の島津藩政時代から近代、現代の近年に至るまでの文書、記録等 517 点からなり、大部分は裏打ちされている。昭和 48 年本町の有形文化財に指定された。

近世の島津藩政下では楠川村庄屋が、その後は公選の楠川区長が、歴代収集し、保管してきたものである。

近世の藩政時代のものは、元禄・享保年中等 17 世紀末から 18 世紀初頭のものもあるが、文化文政年頃ら幕末、明治初期にかけてのものが多く、楠川の村庄屋・副戸長が出したか受けたかした文書が主なものである。平木の雛形や宿の表示に使った板も含まれている。また、明治時代の戸籍、名寄、墓石等の基礎台帳も多い。楠川はもちろん、屋久島全域でも政治、経済、社会、生活、文化等に関するまとまった資料としては唯一のものであり、近世以後の根本資料として価値が高い。